

平成19年度 情報手段活用による教育的支援指導者研修 受講者レポートについて

受講者は、下記の要領にしたがってレポートを作成し、提出してください。

1. 作成いただくレポートのテーマ・内容

本研修は、障害のある子どもに対する情報教育・情報手段活用による教育的支援（アシスティブ・テクノロジー）に関する専門的知識及び技能を高め、各地域で研修を企画・実施することができる力を身に付けることを目標としています。ついては、ご自身の情報手段活用に関するこれまでの取り組みと、この研修を通じて深めたいと考えている事柄について、レポートにまとめください。レポートは、研究協議に用います。課題意識の共有化等を図るため、そのまま印刷（白黒印刷）し、受講者全員へ配付する予定です。

(1) 情報手段活用に関するこれまでの取り組み

（障害のある子どもへの情報手段を活用した教育的支援に関して、ご自身が行ってきた取り組み）

(2) 研修で深めたいこと

（この研修を通じて、深めたいと考えている事柄について 簡潔にお書きください）

なお、研究協議のグループ編成の参考として、次のキーワードにより、関心の高い事項について、

- ①障害に応じた機器利用、②教材作成、③アクセシビリティ、④AAC、⑤ネットワーク利用、
⑥その他（具体的にお書きください）

最も関心のある事項は「◎」、次に関心のある事項は「○」として記述し、合わせてお知らせください。

2. レポートの様式と提出期限

(1) レポートの様式

様式例を参照し、A4版1枚程度にまとめてください。

(様式例)	平成19年度情報手段活用による教育的支援指導者研修 レポート
受講番号	_____ 所属： _____ 氏名： _____
	障害種別（例：視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、その他（ _____ ））
	キーワード：（ ）①障害に応じた機器利用、（ ）②教材作成、（ ）③アクセシビリティ、 （ ）④AAC、（ ）⑤ネットワーク利用、（ ）⑥その他（ _____ ）
	1. 情報手段活用に関するこれまでの取り組み
	2. 研修で深めたいこと（簡潔にお書きください）

※レポート作成に当たっての留意事項

レポートの作成に当たっては、各学校・機関の部外秘情報及び個人情報の保護・管理に留意してください。なお、このレポートは、今後、当研究所の研究資料としても利用させていただきます。

(2) 提出日・提出先

8月17日（金）までに、メール添付により研修情報課研修係 a-kenshu@nise.go.jp まで提出してください。また、専用 Web サイトの電子会議室にも、併せて提出してください。

URL http://forum.nise.go.jp/joho_shudan/

[レポートの内容についての問い合わせ先]

教育研修情報部 渡邊章 tel046-839-6875
教育研修情報部 太田容次 tel046-839-6871
教育研修情報部 渡邊正裕 tel046-839-6873
e-mail v-joho2007@nise.go.jp

[レポートの提出先]

〒239-0885 神奈川県横須賀市野比5-1-1
国立特別支援教育総合研究所
総務部研修情報課研修係
tel 046-839-6827, 6828 (ダイヤルイン)
e-mail a-kenshu@nise.go.jp